

基本目標Ⅰ「経営力の強化、生産性の向上」
目標①：企業の経営力強化を支援します

①事業承継に関する現状・課題に対応した支援策の実施(施策Ⅰ-①-(5))

建設企業が将来にわたってその活力を維持し、発展していくためには、事業がしっかりと承継されていくことが重要です。後継者問題の高まりに伴い、事業承継が円滑に行われる環境整備の必要性が生じるとともに、廃業時の雇用の維持や技術の継承への影響が懸念されることから、事業承継等に関する現状・課題の把握や支援策に関する検討に産学官が連携して取り組みます。

■取組の方向性（案）

事業承継に関する現状や課題を把握するために、建設業界団体の会員企業へのアンケートやヒアリング、合併により事業承継した企業へのヒアリングにより課題を整理し、課題に対する対応策を本協議会で検討する。

※アンケート項目や対象などの詳細は、今後設置する「ワーキンググループ」で議論

事業承継に関する現状・課題の把握

- ・ **アンケート + ヒアリング**（4～5者）
対象：建設業界団体（会員企業の経営者）
調査項目：代表取締役の年齢、後継者の有無、事業承継の形態、事業承継の課題・問題点 等
- ・ **ヒアリング**
対象：合併等により事業承継をした企業（県外企業も対象）
聞取項目：予想以上の効果、予想どおりの効果、予想以下の効果、役に立った支援策、等

課題に対する対応策を検討

- （想定される対応策）
- ・ 優れた事例の情報共有
 - ・ 相談窓口の案内
 - ・ 説明会の開催 他

検討結果を基に支援策の実施

基本目標Ⅱ「担い手の確保・育成」
目標①：産学官が連携した積極的な広報活動に取り組みます

②建設業におけるSDGsに関する取組の発信（施策Ⅱ-①-(8)）

SDGsに関して建設業が大きく関わるテーマについて、県内建設業における積極的な取組を支援するとともに、社会の一員としてSDGsの目標達成に向けて取り組む建設業への理解醸成を図るため、様々な広報の機会を捉えてSDGsに関する取組の情報発信を行います。

■取組の方向性（案）

SDGs に関し建設業に関係の深いテーマの設定を行い、テーマ別に収集した事例を業界内で情報共有し、外部へ情報発信することで建設業のイメージアップを図る。

テーマの設定

地域建設業と関係が深いSDGsのゴールとターゲットをテーマとして設定

取組事例の収集

- ・ 取組事例の収集
（建設業界団体を通じて事例の収集）

取組事例の情報共有

- ・ 取組事例の共有
（業界団体へ配布）

外部への情報発信方法の検討

- （想定される情報発信方法）
- ・ 小中学生との勉強会
 - ・ ウェブ、SNS 他

外部への情報発信の実施

振興プランにおける新たな施策の取組の方向性について

基本目標Ⅱ「担い手の確保・育成」

目標②：育成・定着のための取組を支援します

③建設業界団体と連携した入職者の分析に基づく担い手の確保・育成策の展開（施策Ⅱ-②-（7））

入職者の多様化、人材の流動化、教育環境の変化等に対応した効果的な担い手確保・育成策の展開のため、建設業界団体との協働による入職者の分析や、分析を踏まえた担い手の確保・育成策の検討、関係部局との連携を図ります。

■取組の方向性（案）

入職者を分析するためアンケートを実施し、アンケートの分析結果をもとに担い手の確保・育成策を本協議会で検討する。

※アンケート項目や対象などの詳細は、今後設置する「ワーキンググループ」で議論

基本目標Ⅱ「担い手の確保・育成」

目標②：育成・定着のための取組を支援します

④入職者の多様化等に対応した学習機会の提供（施策Ⅱ-②-（1））

入職者の多様化に伴い、建設分野の教育や職務の履歴の無い方が入職した場合など、入職後に専門知識を習得する必要性が高まることを踏まえ、ニーズの把握や対応する学習のあり方等に関する検討に産学官が連携して取り組みます。

■取組の方向性（案）

入職後の専門知識の習得に関するニーズを把握するため、アンケートを実施し対応する教育方法について本協議会で検討する。

※アンケート項目や対象などの詳細は、今後設置する「ワーキンググループ」で議論

対象者や調査項目が重複するので、アンケートは2つ施策を合わせて実施

入職者の分析

・アンケート

対象：建設業界団体（会員企業の社員及び企業経営者）

※外国人労働者を含む

調査項目：入職前の経歴、入職の動機・きっかけ、社員充足率、人材育成、離職理由等

- ・入職者の出身学科、前職
- ・普通科の学生、異業種からの転職者の入職理由
- ・募集者数と応募者数、採用数（担い手不足の切迫度合い）
- ・入職後の人材育成に必要な事項
- ・建設系学科以外出身で活躍している社員の事例紹介
- ・離職者は何に不満を抱いていたのか 等

入職後の専門知識の習得に関するニーズの把握

・アンケート

対象：建設業界団体（会員企業の社員及び企業経営者）

調査項目：入職前の経歴、専門知識習得方法、役だったこと等

- ・入職者の出身学科、前職
- ・職場内研修の日数、内容
- ・不足している知識
- ・専門知識を習得する上で役に立ったツール、等

アンケートの分析結果を基に、確保策・育成策を検討

（想定される確保・育成策）

【確保策】

- ・進路指導担当教諭説明会の拡充
- ・建設系学科以外の学生へのアプローチ

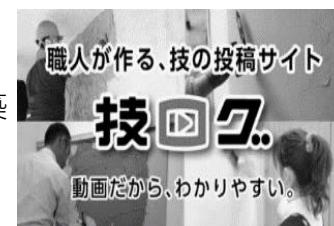
【育成策】

- ・入職者の職歴に応じた社内での人材育成に関する講習会
- ・業界団体主催研修の内容充実

学習機会の提供方法を検討

（想定される学習機会の提供方法）

- ・業界団体主催研修の内容充実、形態変更
- ・県内就業者のオンラインコミュニケーションツールの構築
- ・建設系学科以外出身で活躍している人の紹介
- ・技術継承に向けての動画の作成・活用（例：技ログ）



検討結果を基に支援策を実施